

船舶事故等調査報告書

平成25年3月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第197号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年10月13日（土） 12時40分ごろ
発生場所	香川県小豆島町大福部島 <sup>おおふくべ</sup> 南東方沖 大福部島島頂から真方位105° 200m付近 （概位 北緯34° 25.5′ 東経134° 17.5′）
事故等調査の経過	平成24年11月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	モーターボート <sup>たいへい</sup> 大平丸 <sup>ツ</sup> Ⅱ、5トン未満 280-39686香川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	舵軸取付け部の船底外板に亀裂、プロペラ曲損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、船首約0.3m、船尾約0.8mの喫水で大福部島南方沖で釣りを行っていたが、釣り場を移動することとし、大福部島と小福部島間の水路を魚群探知機で水深を確認しながら、3～4ノットの対地速力で北東進中、水深が急激に浅くなったので主機を後進としたものの、平成24年10月13日12時40分ごろ暗岩に乗り揚げた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2～3 海象：潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	船長は、航行海域の水深の状況を事前に調査していなかった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、大福部島と小福部島間の水路を通航する際、船長が水路状況を調査していなかったことから、同水路の暗岩に接近し、暗岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、大福部島と小福部島間の水路を通航する際、船長が水路状況を調査していなかったため、同水路の暗岩に接近し、暗岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。